



2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月14日

上場会社名 株式会社 安楽亭

上場取引所 東

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 先

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 次長 (氏名) 町田 英之

TEL 048-859-0555

定時株主総会開催予定日 2024年6月27日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	30,260	5.9	1,464		1,307	426.7	967	
2023年3月期	28,566	21.7	102		248	71.5	253	

(注) 包括利益 2024年3月期 1,001百万円 (%) 2023年3月期 248百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	434.56		16.9	6.2	4.8
2023年3月期	118.74		5.3	1.2	0.4

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	22,232	6,836	30.7	2,960.40
2023年3月期	20,051	4,621	23.0	2,161.89

(参考) 自己資本 2024年3月期 6,836百万円 2023年3月期 4,621百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	2,491	661	735	4,959
2023年3月期	664	253	1,764	2,391

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		0.00		0.00	0.00			
2024年3月期		0.00		0.00	0.00			
2025年3月期(予想)		0.00						

(注) 2025年3月期の期末配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,908	0.7	524	7.4	489	6.1	320	37.4	138.57
通期	30,265	0.0	1,267	13.5	1,200	8.2	761	21.3	329.54

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	2,311,434 株	2023年3月期	2,139,434 株
期末自己株式数	2024年3月期	2,126 株	2023年3月期	1,806 株
期中平均株式数	2024年3月期	2,226,593 株	2023年3月期	2,137,707 株

(参考)個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	11,170	1.4	132		516		48	
2023年3月期	11,327	17.6	432		292		638	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	21.69	
2023年3月期	298.81	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	11,726	4,960	42.3	2,147.85
2023年3月期	11,071	3,683	33.3	1,723.29

(参考) 自己資本 2024年3月期 4,960百万円 2023年3月期 3,683百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2024年5月24日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化が進んだ一方、不安定な国際情勢のもと、円安の進行、物価の上昇等、引き続き景気の先行きが不透明な状況で推移しました。

外食産業におきましても、新型コロナウイルス感染症の脅威から脱し、客足や売上は回復傾向に進んだものの、継続的な物価上昇に対する消費者の生活防衛意識はなお強く、原材料価格やエネルギーコスト等の高騰、人手不足及び人件費上昇等の状況のなかで厳しい経営環境が続きました。

このような環境において、当社グループは、経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様の基本ニーズである「安全・安心」に徹底してこだわった「自然肉100%」の商品提供を堅持し、さらなる品質向上のため、日々努力を続けております。また、消費者の意識・行動がコロナ禍を経て大きく変化しているなか、多くのお客様に選んでいただける店づくりのための商品開発や改装に注力するとともに、店内業務の見直しやDXにより料理提供時間の短縮を図る等、お客様満足度向上に向けた取り組みを進めてまいりました。店舗展開においては、「安楽亭」2店舗を「ステーキのどん」へ、「しゃぶしゃぶどん亭」1店舗を「フォルクス」へ転換する等、業態転換を計6件実施し、グループ内の業態の見直しを積極的に進めました。

また、当期に当社グループが創業60周年を迎えたことを機に、創業以来築き上げてきたブランド価値をお客様に改めて感じていただけるよう、そして、新たな時代に対応し、より魅力的なサービスを提供していけるよう、「安楽亭」の新ロゴや新キャッチフレーズの発表を含め、ブランドコミュニケーション戦略の強化にも取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高302億60百万円（対前年同期比5.9%増）、営業利益14億64百万円（前年同期は営業損失1億2百万円）、経常利益13億7百万円（対前年同期比426.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益9億67百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失2億53百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「安楽亭業態」、「七輪房業態」、「アークミール」及び「その他業態」から、「安楽亭・七輪房業態」、「アークミール業態」及び「その他業態」に変更し、共通費の集計及び配賦方法を変更しております。当連結会計年度の比較・分析は、セグメント変更後の区分に基づいております。

① 安楽亭・七輪房業態

安楽亭・七輪房業態の当連結会計年度末の店舗数は166店舗であります。内訳は直営114店舗、暖簾15店舗、FC37店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「安楽亭」では、食べ放題コースに「学生専用食べ放題」の導入、お客様に広く定着した「29の日（肉の日）キャンペーン」の拡充等、集客力強化を目的とした施策を積極的に展開してまいりました。

「七輪房」では、GW期間やお盆の「人気部位満喫盛り」、年末年始の「限定プレミアム大皿」の販売、「バリうま！九州グルメフェア」の実施等、プレミアム感や季節感を重視した多様なメニューや企画を展開しました。

また、「安楽亭」「七輪房」の共通企画として、バイヤーが厳選した日本各地の上質な銘柄和牛の焼肉メニューを店舗限定で提供する「銘柄和牛プロジェクト」を実施しました。

DXの取り組みとしましては、独自開発した「卓上タブレットオーダーシステム」、「配膳ロボット」、「来店ご案内受付機」を安楽亭業態のほぼ全店に導入し、お客様の利便性向上及び店舗オペレーションの効率化を図ってまいりました。

以上の結果、安楽亭・七輪房業態の当連結会計年度の売上高は121億70百万円（対前年同期比1.5%減）となり、セグメント利益（営業利益）は3億25百万円（前年同期はセグメント損失2億26百万円）となりました。

② アークミール業態

アークミール業態の当連結会計年度末の店舗数は132店舗であります。内訳は直営130店舗、FC2店舗であります。アークミール業態には、「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス（ステーキ）」を含んでおります。

販売促進及び商品開発につきましては、「やみつきらムステーキフェア」、「ステーキ屋のタラバ蟹グリルフェア」（以上ステーキのどん）、「重量級ステーキフェア」（フォルクス）等の企画実施、新たなしゃぶしゃぶだし「豆乳だし」の導入（しゃぶしゃぶどん亭）等、各業態において積極的に来店促進及びメニュー多様化の施策を展開してまいりました。

以上の結果、アークミール業態の当連結会計年度の売上高は175億87百万円（対前年同期比11.3%増）となり、セグメント利益（営業利益）は15億73百万円（対前年同期比168.5%増）となりました。

④ その他業態

その他業態の当連結会計年度末の店舗数は9店舗であります。内訳は直営7店舗、FC2店舗であります。なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「花炎亭（焼肉）」、「上海菜館（中華）」、「カフェビーンズ（喫茶）」、「安楽亭ベトナム（焼肉）」を含んでおります。

その他業態の当連結会計年度の売上高は5億2百万円（対前年同期比22.6%増）となり、セグメント損失（営業損失）は24百万円（前年同期はセグメント損失45百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末に比べ21億80百万円増加し、222億32百万円となりました。これは、現金及び預金が増加したこと等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ34百万円減少し、153億96百万円となりました。これは、借入金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ22億15百万円増加し、68億36百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益の計上、公募増資及び第三者割当増資による資本金及び資本剰余金の増加等が要因です。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は49億59百万円と、前年同期と比べ25億67百万円（対前年同期比107.4%）の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の計上8億67百万円、減価償却費の計上7億66百万円等により24億91百万円の収入となりました。前年同期は6億64百万円の収入であり、前年同期と比べて18億26百万円の収入の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出7億48百万円、無形固定資産の取得による支出87百万円、敷金及び保証金の回収による収入1億22百万円等により6億61百万円の支出となりました。前年同期は2億53百万円の支出であり、前年同期と比べて4億7百万円の支出の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少額18億88百万円、長期借入れによる収入33億8百万円、長期借入金の返済による支出15億83百万円、株式発行による収入12億16百万円等により7億35百万円の収入となりました。前年同期は17億64百万円の支出でありました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率(%)	25.2	18.7	22.4	23.0	30.7
時価ベースの自己資本比率(%)	45.7	44.9	62.2	75.6	72.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	39.2	19.8	△10.0	15.8	4.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	7.7	5.5	△9.8	5.4	20.6

(注) 1. 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

3. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

4. 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を使用しております。

有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内では食材価格をはじめ物価の上昇が沈静する気配が見えず、さらにウクライナや中東地域等の国際情勢不安が広がっており、予断を許さない経営環境が当面続くものと思われまます。また、消費者の外出に対する意識・行動がコロナ禍から現在の社会経済状況を経て大きく変化しており、外食事業者は非常に重要な転換点を迎えております。

当社グループは、今迎えている大きな環境変化を成長のチャンスととらえ、既存業態のサービスのブラッシュアップ及び収益構造改革を引き続き進めていくとともに、さらに価値ある外食体験を提供できる業態の開発にも注力していく方針です。長年築き上げてきた経営資源を最大限に活かしながら、新たな時代のニーズに応える商品、サービス及び店舗デザインを創出するべく、明確な目的感を持った組織構築と、それを支える多様な人材の確保と育成を進めてまいります。

あわせて、創業60周年を機に強化しておりますブランドコミュニケーション戦略の展開にも引き続き力を入れて取り組み、経営理念である、「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」の実現のため、役職員全員、さらなる企業価値向上に向け邁進してまいります。

通期の連結業績見通しにつきましては、売上高302億65百万円、営業利益12億67百万円、経常利益12億円、親会社株主に帰属する当期純利益7億61百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,597,664	5,165,640
売掛金	1,310,690	1,469,292
商品及び製品	622,297	601,254
仕掛品	5,330	8,448
原材料及び貯蔵品	1,096,972	744,389
前払費用	456,027	321,065
その他	115,636	42,110
貸倒引当金	△4,917	△3,630
流動資産合計	6,199,701	8,348,572
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,488,632	17,356,967
減価償却累計額	△14,334,835	△14,508,504
建物及び構築物(純額)	3,153,797	2,848,463
機械装置及び運搬具	332,268	307,575
減価償却累計額	△273,286	△265,433
機械装置及び運搬具(純額)	58,982	42,141
工具、器具及び備品	4,679,767	4,849,136
減価償却累計額	△4,299,928	△4,316,121
工具、器具及び備品(純額)	379,839	533,014
土地	6,080,942	6,080,942
リース資産	930,235	900,349
減価償却累計額	△850,096	△827,236
リース資産(純額)	80,138	73,112
建設仮勘定	23,154	24,934
有形固定資産合計	9,776,855	9,602,609
無形固定資産		
のれん	12,133	—
その他	533,838	530,560
無形固定資産合計	545,972	530,560
投資その他の資産		
投資有価証券	150,809	182,826
長期貸付金	1,885	3,247
長期前払費用	85,575	69,424
繰延税金資産	165,834	471,668
敷金及び保証金	3,123,744	3,019,434
その他	27,998	27,500
貸倒引当金	△26,721	△23,313
投資その他の資産合計	3,529,126	3,750,788
固定資産合計	13,851,954	13,883,958
資産合計	20,051,656	22,232,531

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	940,679	1,083,926
短期借入金	3,622,200	1,734,000
1年内返済予定の長期借入金	1,492,056	1,574,815
リース債務	36,693	32,511
割賦未払金	301,804	303,807
未払金	321,709	356,025
設備関係未払金	67,650	49,642
未払費用	823,397	840,672
未払法人税等	100,338	317,844
未払消費税等	447,450	377,804
賞与引当金	156,200	155,300
資産除去債務	7,782	14,500
その他	422,138	463,251
流動負債合計	8,740,100	7,304,098
固定負債		
長期借入金	4,448,644	6,090,171
リース債務	115,089	117,892
長期割賦未払金	650,943	626,297
繰延税金負債	185,180	109,921
役員退職慰労引当金	142,370	155,397
退職給付に係る負債	441,669	413,266
資産除去債務	351,974	343,528
その他	354,374	235,472
固定負債合計	6,690,246	8,091,948
負債合計	15,430,346	15,396,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,790,461
資本剰余金	2,472,098	3,080,174
利益剰余金	△1,052,073	△84,475
自己株式	△10,349	△12,635
株主資本合計	4,592,061	6,773,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,815	47,819
為替換算調整勘定	11,434	14,284
退職給付に係る調整累計額	△2,002	854
その他の包括利益累計額合計	29,248	62,959
純資産合計	4,621,309	6,836,483
負債純資産合計	20,051,656	22,232,531

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	28,566,891	30,260,918
売上原価	10,752,943	11,476,959
売上総利益	17,813,947	18,783,959
販売費及び一般管理費	17,916,622	17,319,714
営業利益又は営業損失(△)	△102,675	1,464,244
営業外収益		
受取利息	3,158	1,918
受取配当金	2,846	3,023
受取地代家賃	47,151	48,576
為替差益	232	1,726
助成金収入	505,821	—
その他	27,049	42,092
営業外収益合計	586,260	97,337
営業外費用		
支払利息	125,853	123,553
賃貸収入原価	6,432	7,828
支払手数料	100,192	116,235
その他	2,919	6,808
営業外費用合計	235,397	254,425
経常利益	248,186	1,307,156
特別利益		
固定資産売却益	3,226	2,358
受取保険金	—	2,597
受取補償金	—	100,000
特別利益合計	3,226	104,955
特別損失		
固定資産除却損	11,582	8,274
減損損失	245,728	503,512
賃貸借契約解約損	112,094	32,811
特別損失合計	369,404	544,598
税金等調整前当期純利益 又は税金等調整前当期純損失(△)	△117,991	867,514
法人税、住民税及び事業税	92,253	286,467
法人税等調整額	43,587	△386,550
法人税等合計	135,840	△100,082
当期純利益又は当期純損失(△)	△253,831	967,597
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△253,831	967,597

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△253,831	967,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,173	28,004
為替換算調整勘定	5,140	2,849
退職給付に係る調整額	△7,024	2,856
その他の包括利益合計	5,289	33,710
包括利益	△248,542	1,001,308
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△248,542	1,001,308

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,182,385	2,472,098	△798,241	△9,065	4,847,177
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△253,831		△253,831
自己株式の取得				△1,283	△1,283
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△253,831	△1,283	△255,115
当期末残高	3,182,385	2,472,098	△1,052,073	△10,349	4,592,061

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累 計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	12,642	6,294	5,021	23,958	4,871,135
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△253,831
自己株式の取得					△1,283
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	7,173	5,140	△7,024	5,289	5,289
当期変動額合計	7,173	5,140	△7,024	5,289	△249,826
当期末残高	19,815	11,434	△2,002	29,248	4,621,309

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,182,385	2,472,098	△1,052,073	△10,349	4,592,061
当期変動額					
新株の発行	608,075	608,075			1,216,151
親会社株主に帰属する当期純利益			967,597		967,597
自己株式の取得				△2,285	△2,285
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	608,075	608,075	967,597	△2,285	2,181,463
当期末残高	3,790,461	3,080,174	△84,475	△12,635	6,773,524

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	19,815	11,434	△2,002	29,248	4,621,309
当期変動額					
新株の発行					1,216,151
親会社株主に帰属する当期純利益					967,597
自己株式の取得					△2,285
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	28,004	2,849	2,856	33,710	33,710
当期変動額合計	28,004	2,849	2,856	33,710	2,215,174
当期末残高	47,819	14,284	854	62,959	6,836,483

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益 又は税金等調整前当期純損失 (△)	△117,991	867,514
減価償却費	766,416	766,444
減損損失	245,728	503,512
のれん償却額	12,133	12,133
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14	△4,694
賞与引当金の増減額 (△は減少)	39,513	△900
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	13,027	13,027
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	△9,539	—
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	1,685	△1,117
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,705	△24,101
受取利息及び受取配当金	△6,005	△4,942
助成金収入	△505,821	—
支払利息	125,853	123,553
為替差損益 (△は益)	△232	△1,726
固定資産売却損益 (△は益)	△3,226	△2,358
受取保険金	—	△2,597
受取補償金	—	△100,000
固定資産除却損	11,582	8,274
賃貸借契約解約損	112,094	32,811
売上債権の増減額 (△は増加)	△420,687	△158,601
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△91,818	370,507
前渡金の増減額 (△は増加)	485	467
仕入債務の増減額 (△は減少)	15,763	143,247
未払金の増減額 (△は減少)	△118,198	44,654
未払消費税等の増減額 (△は減少)	452,436	△69,646
未払費用の増減額 (△は減少)	△41,753	15,330
預り金の増減額 (△は減少)	24,521	43,333
前受収益の増減額 (△は減少)	26,569	1,929
その他	△9,570	2,629
小計	521,247	2,578,685
利息及び配当金の受取額	5,200	4,104
助成金の受取額	626,446	—
利息の支払額	△123,578	△120,979
保険金の受取額	—	2,597
補償金の受取額	—	100,000
店舗閉鎖に伴う支払額	△84,779	△41,350
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△279,795	△31,626
営業活動によるキャッシュ・フロー	664,740	2,491,431

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△431,913	△748,664
有形固定資産の除却による支出	△500	—
有形固定資産の売却による収入	3,226	11,709
無形固定資産の取得による支出	△80,887	△87,182
敷金及び保証金の差入による支出	△7,489	△4,580
敷金及び保証金の回収による収入	168,250	122,316
預り保証金の返還による支出	△10,427	△12,000
預り保証金の受入による収入	8,000	16,500
貸付けによる支出	—	△4,500
貸付金の回収による収入	1,328	7,057
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	96,486	37,732
投資活動によるキャッシュ・フロー	△253,925	△661,611
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△74,800	△1,888,200
長期借入れによる収入	50,000	3,308,000
長期借入金の返済による支出	△1,374,444	△1,583,714
セール・アンド・割賦バックによる収入	—	8,199
割賦債務の返済による支出	△311,129	△284,831
リース債務の返済による支出	△52,906	△37,844
株式発行による収入	—	1,216,151
自己株式の取得による支出	△1,283	△2,285
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,764,563	735,475
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,016	2,677
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,350,732	2,567,972
現金及び現金同等物の期首残高	3,742,508	2,391,775
現金及び現金同等物の期末残高	2,391,775	4,959,748

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはレストラン事業における焼肉レストランを主要事業として、ブランドごとの包括的な事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。

第1四半期連結会計期間より、当社グループの経営管理及び事業実態に合わせた損益管理を行うため、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「安楽亭業態」、「七輪房業態」、「アークミール」、「その他業態」から、「安楽亭・七輪房業態」、「アークミール業態」、「その他業態」に変更し、共通費の集計及び配賦方法を変更しております。

なお、前連結改定年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

「安楽亭・七輪房業態」は、郊外型で開放的な空間での焼肉をリーズナブルな価格で提供している「安楽亭」と焼肉部門第二の核として「安楽亭」より客単価の高い設定で、個室を多く配置し、落ち着いた空間での食事を提供している「七輪房」を含んでおります。「アークミール」は「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス(ステーキ)」を含んでおります。「その他業態」は、「からくに屋(焼肉)」、「花炎亭(焼肉)」、「上海菜館(中華)」、「カフェビーンズ(喫茶)」、「安楽亭ベトナム(焼肉)」を含んでおります。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	安楽亭・七輪房 業態	アークミール 業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	12,359,360	15,797,278	410,251	28,566,891	28,566,891	—	28,566,891
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	12,359,360	15,797,278	410,251	28,566,891	28,566,891	—	28,566,891
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	△226,850	585,958	△45,853	313,254	313,254	△415,929	△102,675
セグメント資産	11,719,732	7,477,058	386,804	19,583,595	19,583,595	468,060	20,051,656
その他の項目							
減価償却費	361,079	334,755	28,206	724,041	724,041	42,374	766,416
のれん償却額	12,133	—	—	12,133	12,133	—	12,133
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	279,992	467,033	71,188	818,214	818,214	3,133	821,348

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又はセグメント損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額468,060千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
 - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額3,133千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	安楽亭・七輪房 業態	アークミール 業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	12,170,158	17,587,976	502,782	30,260,918	30,260,918	—	30,260,918
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	12,170,158	17,587,976	502,782	30,260,918	30,260,918	—	30,260,918
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	325,773	1,573,298	△24,365	1,874,707	1,874,707	△410,462	1,464,244
セグメント資産	12,371,041	8,946,654	571,912	21,889,607	21,889,607	342,923	22,232,531
その他の項目							
減価償却費	360,894	323,821	29,858	714,574	714,574	51,870	766,444
のれん償却額	12,133	—	—	12,133	12,133	—	12,133
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	465,419	578,027	62,276	1,105,723	1,105,723	11,377	1,117,100

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又はセグメント損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額342,923千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
 - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額11,377千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,161.89円	2,960.40円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△118.74円	434.56円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△253,831	967,597
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△253,831	967,597
普通株式の期中平均株式数(株)	2,137,707	2,226,593

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当連結会計年度末 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	4,621,309	6,836,483
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	4,621,309	6,836,483
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の 数(株)	2,137,628	2,309,308

(重要な後発事象)

該当事項はありません。